



家庭教育 なう

No.6

2023年8月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

体験やふれあいを大切にした家庭教育学級を紹介します。

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード →



中津川市生涯学習スポーツ課 乳幼児教育学級の紹介

中津川市 乳幼児学級 講演+サロン型 赤ちゃんが来た!親子の絆づくりプログラム(愛称:BP)

日時 令和5年6月19日(月) 13:00~15:00

場所 中津川市中央公民館

担当 生涯学習スポーツ課社会教育指導員 安藤広子さん 家庭教育支援チーム 吉村あずさん

参加者 6か月までの乳児親子7組

「からだ・こころの発達」と「あそび・安全」を考えよう

中津川市では、初めての育児で、生後2~5か月の赤ちゃんを育てているお母さんを対象に、親子の絆づくりプログラム(BP)を行っています。毎回、テーマが設定され、参加者同士で育児について語り合い、学びながら、親子の絆づくりにつながるプログラムを体験します。この6月は4回にわたって、赤ちゃんのからだところの発達について、学び合いました。

内容

- 1) 自己紹介もかねて 「この一週間、お子さんはどんな様子でしたか。」
- 2) ふれあいタイム・ベビーマッサージ・手のひら全体を使ってマッサージ・手遊び てんじんさんの歌
- 3) 赤ちゃんの様子を思い出して具体的にプリントに記入「赤ちゃんはどんなときに機嫌がいいですか?」など
- 4) DVD視聴(赤ちゃんの事故を防ぐには) 例)ものを口に入れる ふろでおぼれる...身近な危険の防止
- 5) DVDの感想 ヒヤリとした体験の交流、その後**指導員の方から大切な心構え**についてお話がありました。

「子ども(幼児)といえども、体験をしながら、学習をしていきます。危険だからといって、先回りして危ないものを取り除くばかりの発想だと**子どもの知恵**が伸びていきません。痛い思いをしながら、学び、知恵をつけていくのです。もちろん、大きなけがや、命にかかわるようなことは、防がなければいけません、それ以外のことならば、体験させることが大切です。例えば、ティッシュ遊び(ティッシュをすべて出し切ってしまう)は、片付けがたいへんです。そこで、一つ出してもよいものを用意しておくようにします。赤ちゃんは、ティッシュを最後まで出し続けます。とことんやったら次の遊びに移ります。ここで箱を取り上げたりして、遊びを途中で止めさせると不完全燃焼で終わることになり、次への興味が持たなくなってしまいます。小学校にあがった頃、**知的好奇心旺盛な子**になるのかどうかに関わってきます。赤ちゃんに危険のないようにしていろいろなことを経験させることは、すごく大事です。」

6) 講話「スマホの産後の身体と赤ちゃんへの影響」

7) 一言感想 全員で。その後、フリータイム

【参加者の声!】

- ・最初からダメってしないで、やらせてみることの大切さがよくわかりました。遊びをしっかりさせてあげたいと思いました。(第一子の赤ちゃんを育てるお母さん)
- ・お話を聞いていて、そういえば、1人目の子はたいへんだったなと思い出しました。たいへんなことも楽しいなと思えるようになりました。(ベテランのお母さん)
- ・いろんな人の話が聞けてよかったです。この子もたくさんの赤ちゃんと出会えてよかったです。(初めてこのプログラムを受けたお母さん)



DVDを視聴し、「赤ちゃんの事故を防ぐには」について学びました。

中津川市福岡乳幼児学級 講演+サロン型

「おひさま広場 開級式」

日時 令和5年6月20日(火) 10:00~11:30
場所 中津川市福岡公民館
参加者 乳幼児親子6組 12名
講師 中津川市文化スポーツ部生涯学習課社会教育指導員 安藤広子さん

主体的に年間計画づくりに参画しよう!

乳幼児学級は、乳幼児(就園前の子ども)を持つお母さんのための教室です。子育てに対する悩みや、同年代の子どもをもつ親とのネットワークづくりを目的にして、公民館(講座)で開催しています。(中津川市 HP より)

福岡乳幼児学級は「おひさま広場」といいます。子どもが将来自分の力で幸せに生きていける子に育つよう、保護者が家庭で基本的な生活習慣、善悪の判断、自立心、社会性、愛する心などを身につけさせることを願って開級しています。保護者同士が交流しながら、家庭教育(子育て)について学ぶ場となっています。毎年、好評なのが、地域の良さを生かした活動です。水遊び、手足型取り、ハロウィン仮装、榊山神社さんぽ、クリスマス会、リトミックなど、楽しそうな教室がいっぱいです。今回は、開級式ということで、「乳幼児学級とは」という講話を聞きました。その後、参加者が主体的に、どんな活動がしたいかを相談し、年間の計画をたてました。

内容

- 1) 開会の言葉 事務局
- 2) あいさつ 福岡公民館長 杉江 良基さん
- 3) 乳幼児学級とは
生涯学習課社会教育指導員 安藤 広子さん
- 4) 年間計画・交流会・自己紹介
参加者からの希望や、疑問を受け付ける
- 5) 工作活動
- 6) 閉会の言葉 事務局

参加者の感想から

(昨年に引き続き、今年度も参加したお母さん)
「家で子どもと2人の生活ですので、こういうところへ出てきて、気持ちの切り換えなどを行っています。市の支援センターでこういう学級があるよと教えていただきました。この教室の良いところは、季節ごとのイベントがあるところです。また、子ども同士他の子とかかわりがもてることです。幼稚園などに入る前に、こうした同年代の子との触れ合いをさせてやりたいと思いました。(お子さんが)意外と人見知りするところがあるので、こうした活動が人に慣れるという意味でも大事なかなと思っています。」



安藤さんの講話から家庭教育について学びます。



参加者と話しが弾み、アットホームな雰囲気いっぱいです。



年間計画も立て終わり、親子で工作活動しました。

【おひさま広場で良かったこと】(利用者の感想紹介)

- ・広い広場で走り回って遊べる場所
- ・年齢がバラバラでも一緒になって交流できる場所
- ・季節の行事が楽しめたこと
- ・知り合いができたこと
- ・全く知らない土地での子育てに不安だらけでしたが、おひさま広場で知り合いもでき、お母さんたちと話す機会があって、とても楽しく過ごせました。いろんな経験ができ、本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

【福岡公民館乳幼児学級担当の方から】

- ・家庭教育学級の3つの柱「親同士の交流」「仲間づくり」「親子のふれあい」を大事にこれからも活動していけたら良いと思っています。

土岐市立泉小学校附属幼稚園家庭教育学級 行事+体験活動型

家族参観日「親子で科学遊び」&「給食見学」

日時 令和5年6月27日(火)28日(水) 9:00~12:00
場所 土岐市立泉小学校附属幼稚園
参加者 27日(火) 年長親子28組 年中親子21組
28日(水) 年長親子29組、年少親子16組
核融合科学研究所スタッフ4名
PTA本部役員5名



親子の絆を深める家庭教育学級

子ども、保護者、園の先生、地域 みんなが笑顔になる取り組み

土岐市立泉小学校附属幼稚園では、家族参観日に家庭教育学級「親子で科学遊び」と「給食見学」を行いました。家庭教育学級長の土本さんが、「親子で楽しい時間を過ごしてもらえたい。」との願いから、PTA本部役員、園長先生を始め園の先生方と協力して、実現した家庭教育学級です。土岐市下石町にあります核融合科学研究所の皆さんのご支援もいただき、とても魅力的な「科学遊び」メニューとなりました。

<「親子で科学遊び」の内容紹介>

スライムづくり

ロボット遊び

ストロー弓矢づくり

シャボン玉遊び



核融合科学研究所のスタッフがそれぞれのコーナーについて子どもたちの活動を支援しました。本部役員の担当も決め、準備や片付けを行いました。役員の方は、自分の得意が生かせそうなところを選んで担当されたそうです。事前準備の時間も必要でお子さんを迎えにくる時間を有効に活用して、この企画の打ち合わせを行ったことを伺いました。子どもたちは、この4つのコーナーを園の先生の引率でおうちの人といっしょに回り、それぞれの活動を体験しました。おうちの方の出席率は100%でした。一緒に工作をしたり、体験活動を見守ったりととても楽しい時間となりました。子どもたちの知的好奇心も高められ、生き生きとした表情で活動に取り組んでいました。その笑顔を写真や動画に撮っているおうちの方の姿もたくさんありました。きっと家庭でも親子の会話がはずんだことと思います。科学の芽が養われるとともに、親子の絆が深まるとても楽しい家庭教育学級でした。



楽しい科学遊び



給食見学前に食育講話



給食見学の様子

ちやんとすわって食べている。がんばって
いることがわかりました。(年少保護者)

核融合科学研究所のスタッフの方も大活躍でした。準備、説明など、たいへん手際よく行なってみえました。

見学会の前に、学級長より食育講話がありました。事前に給食センターに問い合わせ教えていただいた内容を皆さんに伝えてみえました。

幼稚園の先生に伺いました

多くの保護者の方に来園いただき、親子のかかわりを見ることができ、とてもよい企画だなと思いました。科学遊びなど、こどもたちのよい刺激になりました。PTA役員さんと核融合科学研究所の方のご協力で、おうちの方と一緒に楽しむお子さんの嬉しそうな顔を見ることができてよかったです。

家庭教育学級長 土本さんに伺いました

この3年間は、感染症対策もあって、思ったような企画がしにくい面がありました。今回は、子どもも親も楽しめる活動となりました。それも、園長先生、副園長先生はじめ、園の先生方のご理解があったからこそと思います。日頃から本当によくしていただいています。また、本部役員さん方にも恵まれて、みんなで作り上げることができました。準備は大変なこともありましたが、子どもたちが楽しむことを考えれば、気持ちは充実していました。誰かの役に立てると思えば、大変さはあまり感じませんでした。

多治見市立市之倉小学校家庭教育学級 講話+体験活動型 給食試食会（食育講話+給食参観+給食試食）

日時 令和5年6月29日（木） 11:30~13:30

講師 昭和調理場 多治見市立市之倉小学校 栄養教諭 山田華代先生

参加者 低学年保護者

給食ってこんなにたくさんの方の努力でつくられているんだ！ 家で子どもに「しっかり食べようね。」と話したいと思いました！

家庭教育学級として、給食試食会を開催しました。今回は第一弾、低学年の保護者を対象とした給食試食会でした。感染症対策も考慮して、この会は、栄養講話、教室参観、給食試食と3部に分けて実施されました。

最初に蔡家庭教育学級長から、この会にかける思いの話がありました。

蔡さんの思いが詰まったすてきな案内

栄養教諭の山田華代先生からは、多治見市の給食として大切にしていることを聞きました。



給食配膳の様子参観



参加者の給食配膳の様子



第1回 家庭教育学級 市之倉小学校PTA家庭教育委員会

給食試食会を開催します！

- 給食を食べてみたい
- 給食時の子供の姿を見たい
- 配膳の様子を見たい
- 給食の量ってどのくらい
- 私たちの頃と変わった？

第一弾 6月：
1, 2年生の保護者対象
第二弾 9月：
3, 4年生の保護者対象

1食 280円

栄養講話 昭和調理場 山田華代 栄養教諭（演題未定）
教室参観 配膳・給食の様子が見れます！
給食試食 子供達と同じ量・同じ物を食べられます！

コロナ禍で実施できなかった試食会を4年ぶりに開催します。学校で楽しく給食を食べる子どもたちの姿を見れるチャンスです！また、給食の量・給食時間を共有し、ご家庭での食事に反映していただくことでフードロス削減の一助になればと考えています。

内容 食育講話 栄養教諭 山田華代先生

- 多治見市が給食で大切にしていること
- 旬の食材を大切にします。
 - 安全でおいしい給食づくりに心がけます。
 - よく噛む習慣を身に付けることができますようにします。
 - 日本型の食生活を大切にしていきます。
 - 魚を使った献立を大切にします。
 - 食事環境を大切にします。



調理場で実際の給食を作る場面を動画などで紹介されました。カレーのルーを作るシーンなどでいねいな味づくりに感嘆の声が上がりました。野菜を3回にわけて洗うなど、食の安心、安全に配慮していることもわかりました。

【参加者の声！】

- ・子どもが食べる姿を見たかった。思ったよりごはんをたくさん食べていることがわかりました。
- ・給食は少ないイメージがあった。給食をととても努力して作ってもらっていることがわかった。子どもにしっかりと食べるように話したいと思いました。